

Devil ブランドの新作バッグとは、 女の魂を揺さぶる悪魔のごとき存在?

であるにも関わらず、爆発的ブ

一の卵の特売を思わず連想

の購入数量制限まで始める

トが、「おひとり様につき、30

ところ、女の生命力は強くしぶにいえば、悪魔が華々しく活躍 **恋魔は、「命」を奪うために現れる** はたぶん、「嫉妬」のデーモン、レ 、悪魔はただ消え去るのみ。奪ってしまえば悪魔の仕事は 華麗に悪魔の本領を発揮す えか。「クオータ(個数制限)バまうのも、「買えない」女のひ

なかの・かおり●エッセイスト・服飾史家。1962 年生まれ。東京大学文学部および教養学部卒業。東京大学大学院総合文化研究科博士課程単位取得。イギリスのケンブリッジ大学客員研究員などを経て文筆業に。イギリスとその文化 にも詳しい。連載記事は日本経済新聞、朝日新聞ほか多数。近著は『着るものがない!』『モードの方程式』(共に新潮社刊)など。訳書も多数手掛けている

妖しげな光を放つゴールドのクラッチは、選ばれた職人が時間をかけて編み込んだ"イントレチャート"。マエストロが生んだ魔法のようなバッグが今日もまた、都会に生きる女の心を掴み、激しく 揺さぶる。バッグ¥207,900 (ボッテガ・

女の生命力は艶やかでダークな輝きを

魔物バッグと互角につきあうことで